

2月に入りました。先月末はサッカーのアジアカップ、日本の優勝に感動させられました。

今年は例年と違い寒さが厳しいです、お体御自愛ください。

3日 節分、4日 立春、11日 建国記念の日、14日 聖バレンタインデー、
19日 雨水 第62回さっぽろ雪まつり(7-13日)



1. February 改正情報・案内

- ① 平成23年度の健康保険料率については、現在、各都道府県支部の評議会で審議されています。現時点で保険料率はまだ決定していませんが、今年度に引き続き、保険料率が引上げになる見通しの事。今月中には確定する見込みです。平成22年3月分より8.2%から9.34%まで大幅引上げが行われており、今回更に引上げられることで大変厳しい負担を強いられることとなります。介護保険料率についても同時に引上げが検討されており、1.5%から1.51%への若干の引上げの試算となっています。
- ② 2011年度の年金額は0.4%引き下げとなります。国民年金を満額受け取っている人なら10年度と比べ266円減り、月額6万5742円。厚生年金を受け取る標準的な夫婦(夫が平均的な収入で40年間働き、妻が専業主婦の2人分)では月額23万1650円と942円減る。国民年金保険料が月80円下がり、1万5020円となることも発表しました。年金額の引き下げは5年ぶり。年金額は物価の変動を反映させて決めています「物価スライド」。10年の全国消費者物価指数(CPI)が05年と比べ0.4%のマイナスだったため。

2. 名言名句

「人生は失敗したもん勝ちや！」

試行錯誤、失敗してもそれが糧になる！NHKの朝の連続テレビ小説「てっぺん」の主人公の仲間が言った言葉。

3. 改正情報ワンポイント

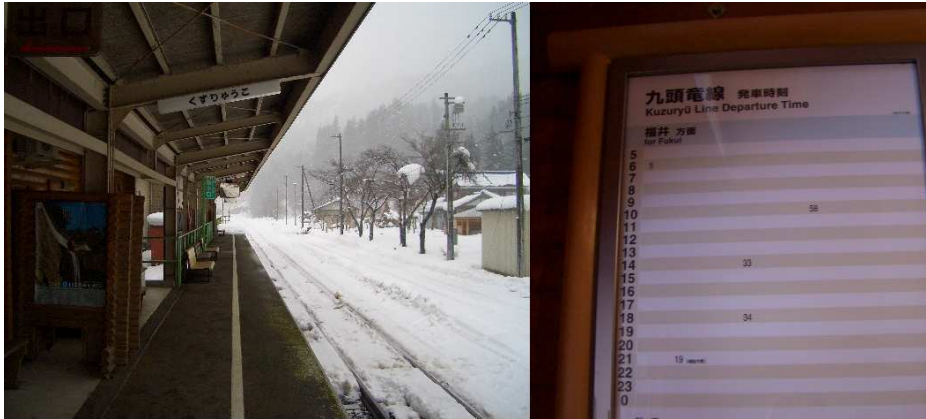
昭和36年1月26日付け保発第4号に保険者等が標準報酬月額^①の算定を行えるケースが3項目定められていますが、4月1日より1項目追加の予定です。

厚生労働省は24日、健康保険法・厚生年金保険法の標準報酬月額の決定に関し、保険者等が報酬月額の算定を行うことが可能なケースに、「業務の性質上、例年4月から6月の報酬額がその他の月と比べて著しく変動するような場合」を加える改正案を示しました。

具体的には、(1)前年の月平均報酬額によって算定した標準報酬月額と、(2)4月から6月の報酬額を基に通常の定時決定の方法により算出した標準報酬月額との間に2等級以上の差が生じる場合、保険者等が報酬月額の算定を行えるようにする。その場合、定時決定の算定のベースとなる報酬月額は、過去1年間(前年7月から当年6月)の月平均報酬額となります。適用日は平成23年4月1日の予定です。

4. データ・情報

① 労災で「過労死」認定。資格取得支援事業大手のTAC（東京）の経理担当で、昨年3月、急性虚血性心疾患のため35歳で亡くなった男性について、東京労働局中央労働基準監督署が、長時間労働による過労死として労災認定していたと代理人の川人博弁護士が1/7日明らかにした。川人弁護士らによると、男性は入社直後の2009年11月、公認会計士試験に合格。正式に会計士となるための実務補習を週1回程度受けながら、休日出勤や徹夜の仕事をこなし、多い時は月約125時間の時間外労働をした。昨年3月、自宅で倒れ死亡。同12月、労災認定された。



←先月、福井からの帰り、車でしたが、久しぶりに（2回目）JR越美北線の終点「九頭竜湖駅」へ、1日5本の列車！う～ん利用者もつらいところです。

- ② 2010年12月の完全失業率は前月比0.2ポイント低下の4.9%で3カ月ぶりに改善した。男性は5.3%で前月に比べ0.1ポイント低下、女性は4.4%と同0.3ポイント低下した。同時に発表した10年平均の完全失業率は5.1%と前年と同率となり、2年連続で5%台となった。2010年12月の有効求人倍率は0.57倍となり、前月と同水準となった。有効求人は前月比0.4%増、有効求職者は同0.6%減となった。新規求人は前年同月比で15.8%増加。また、10年平均の有効求人倍率は0.52倍で前年の0.47倍を0.05ポイント上回った。
- ③ 厚生労働省・文部科学省は、今春卒業予定の大卒者の就職内定率（昨年12月1日時点）が68.8%（前年同期比4.3ポイント減）となり、2年連続で過去最低を更新したと発表した。

HRM Tanaka Human Resources Management

今度のNHKの朝の連続テレビ小説「てっぱん」は、泣かせる、いいシーンもあり、見ています。主人公が営むお好み焼き屋が入る主人公の祖母の下宿は、食事もついている、昔の古びた下宿です。なぜ引き込まれるかといいますと、私自身の学生時代を重ね合わせているからなのかもしれません。自身は、大阪の吹田市にある大学の寮に4年間いました。これがなんと4人部屋！部屋に入ると両側に2段ベッド、その奥に四隅に机が4つ。息ができるのかとも思うような狭さに驚きでした。「住めば都」でしょうか、とうとう最後まで4年間を過ごしました。食堂もあり、部屋の仲間や近所の部屋の仲間で夕食を囲んだり、夜遅くまでワイワイやっていました。「同じ釜の飯を食う仲間」の光景は、なんとも懐かしく思い出されるのです。その寮の仲間との付き合いは、卒業後も結びつきは強く、名古屋地区にも何人かいて、年に何回か会って飲んだり遊んだり、気のおけない仲間でありつづけています。お互いの人生を見守るような、有難い仲間たちです。

最近是个を大事にして、人とのつきあいを避けるような傾向が強いですが、この朝ドラの中では、“面倒くさい”人との絡みが、実に情に熱いといえますか、「一人じゃない、他人でも家族みたいな関係ができる」ということを語りかけてきます。（S）